



広報

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和58年12月20日 発行 No.237

とね

町 勢	昭和 58.12.1 現在
総人口	19,448人 (34人増)
男	9,621人 (26人減)
女	9,827人 (8人増)
世帯数	4,906世帯 (8世帯増)
	() 内は前月比



第4回 利根町文化祭

芸術の秋を彩る「第四回利根町文化祭」が、十一月二日、三日の二日間にわたり、布川小学校体育館と中央公民館の二つの会場で開催されました。文化祭も今年で四回目を迎え、天候にも恵まれ、大勢の見学者が集まりました。第一会場の布川小学校体育



館では、芸能発表が行われ、各クラブから多くの方々が参加し、日頃の練習の成果を披露しました。第二会場の中央公民館では、絵画や書道、陶芸、手芸など多数の作品が展覧され、見物人の目を楽ませていました。



年末年始の特別警戒実施中

十二月十日～一月十日

今年もあとわずかとなりました。一年の総決算となる十二月及び新しい年を迎えた一月はじめは、気ぜわしい時期で、犯罪や事故の多発する時期でもあります。このため警察では、十二月十日から翌年一月十日までを「年末年始特別警戒期間」として、事件や事故の防止に全力を傾けております。

空き巣に御用心

犯罪で最も多いのは窃盗で中でも家人の留守を狙う空き巣や、家人の就寝中侵入する忍び込みなどの犯罪は、特に警戒することが必要です。外出時、就寝時には鍵のかけ忘れに注意するとともに、「カギかけは家族みんなの合言葉」二重ロックに努めるなど、自分の家は自分で守るという心掛けが大切です。



また、まとまったお金を持ちああるく機会も増えることから、人混みの中でのひったくりやスリの被害にあわないよう注意しましょう。

育てよう

健全な青少年

冬休み中は、クリスマスや初詣など子供達にとって外に出る機会が多くなる時です。喫煙、飲酒、不良交友、夜遊びなどは非行の入口で、段々エスカレートすると取り返しのつかない状態まで進んでしまいます。多忙さにかまけて子供を放任せず、態度や持ち物などに注意して、子供との対話に努める絶好のチャンスです。

車には鍵かけを

年間を通して乗用車やオートバイ・自転車の盗難が多発しています。車を離れるときは必ずキーを抜いてドア・ロック、二輪車はハンドル・ロック、自転車はチェーン・ロックが効果的です。

飲酒運転を

追放しよう

毎年、年末年始には、飲酒運転による交通事故が多発します。アルコールが体内に入ると、



動作がぶくなる
視力がおとろえる
気が大きくなる

等、正常な運転ができなくなります。スピードの出過ぎ、無理な追越し、信号無視、一時停止違反等を行い大きな事故を起こします。

- 運転するのなら酒を飲まない
- 酒を飲んだら運転しない
- 運転者に酒をすすめない
- 酒を飲んで運転しようとする人がいたらやめさせる

とかく酒を飲んでも、自分に限っては事故を起こさない。「大丈夫だろう」ということで運転する人がいますが、自分に限って「は通じません。飲んだら運転は絶対止ましましょう。」

一年を通して、一区切りをつける年末、そして新しい年を家族そろって元気に迎えましょう。

15秒ごとの緊張

救急車はあまりにも忙しい

人間だれしも緊張する瞬間はあるはず。でも、緊張の連続では体がまいってしまいます。救急車も同じこと。57年の1年間に救急車が出動した件数は全国で213万件。平均すると、15秒に1回の割合となります。また病院に運んだ患者さんの数

は205万人に上ります。

この205万人の中には、交通事故や急病のため生死が分かれるような重傷の人もいます。しかし、約半数は結果的に入院の必要がなかった人で、なかには救急車を呼ぶこともなかった、という例もあります。



救急車の利用には、もっと細心でありたいものです。

保育所(園)

入所児童を募集

昭和五十九年度保育所入所希望者につきましては、現在

保育所へ入所中の児童のうち、来春小学校へ入学される児童があり、その児童の補充として次のとおり入所申請の受付をいたしますので、入所資格に該当する希望者は申請してください。

ただし、募集人員は、布川保育園三七名、文間保育所三四名、東文間保育園二二名です。希望者が多いときは、措置基準該当者でも入所できない場合もあります。

○東文間保育園
日時 一月十八日(水)
午後一時三〇分〜四時

○布川保育園
場所 利根町中央公民館

場所 文間地区農村集落センター
日時 一月十八日(水)
午前九時〜十二時

日時 一月十九日(木)
午前九時〜十二時

場所 利根町保健センター
※期日にどうしても都合が悪くならない方は、一月二十七日までに役場福祉年金課へ提出してください。

▼入所申請書交付場所
十二月二十日から福祉年金課及び各保育所(園)で交付しています。

▼入所基準について
利根町内に居住している学令前児童で、母親が家庭内外労働のため保育ができない場合。又は、母親のいない家庭、母親が病氣・出産、あるいは病人の看護などの場合は該当しますが、来年

学校だからとか集団生活にならなためという理由では該当しません。

▼提出書類

- 保育所(園)入所申請書
- 雇用証明書・内職証明書
- ※町指定の用紙に限る
- 源泉徴収票(両親及び同一家族の祖父父母が会社等に勤務の家庭は、昭和五十八年一月一日から十二月三十一日までの勤務先発行のもの)
- 診断書(症状の程度・通院回数の記入されているもの(母親が病氣または家族の看病等をしている場合))

昭和五十八年一月一日現在利根町に住民登録されていない方は、「58年度分市町村民税課税証明書」及び、「固定資産税課税証明書」を前住所地の役所から取り

※詳しくは福祉年金課まで。

▼注意事項

- 児童の年令は、昭和五十九年四月一日現在の満年令を記入してください。
- 入所申請書の書きもれ、認印の押し忘れのないように、また、必要な書類を必ず添付し、申請者が提出してください。



見舞金が大幅アップ!

県民交通災害共済

県民交通災害とは、交通事故等により負傷した場合、災害の程度に応じて、2万円から最高100万円までの見舞金をお支払いする制度です。この機会にご家族そろって県民交通災害共済に加入しましょう。

◎会費

1年間 600円
(中学生以下は300円ですが利根町においては全額公費負担)

◎お支払い見舞金

最高 死亡 100万円
傷害 2万円〜30万円まで
最低3日の治療で2万円
身障見舞金 50万円

◎共済期間

毎年4月1日から翌年3月31日まで(途中加入の場合は申込みの翌日から3月31日まで)

◎受付開始

昭和59年2月1日から(昭和59年1月中に申込み用紙を各戸配布いたします。)

◎受付場所

利根町役場 総務課

◎実施機関

茨城県市町村総合事務組合

◎保育所と幼稚園のちがいは

「保育所」は、保護者が労働に従事したり、あるいは疾病にかかっているなどのために、家庭において保育することができない児童を、保護者にかわって一般家庭と同様の保育をすることを目的とした「幼稚園」とは、その性質がちがっています。

しかし、入所希望の内容をみますと「保育所」と「幼稚園」を混同し、家庭に保育する人がいるにもかかわらず、保育所への入所を希望する方が多くみられました。

保育所の役割を再度考え、入所申請をしてください。

●繰り上げ支給の減額率

受給時の年齢	65歳で受けるべき年金額に対する減額率
60歳以上61歳未満	0.42
61歳 " 62歳 "	0.35
62歳 " 63歳 "	0.28
63歳 " 64歳 "	0.20
64歳 " 65歳 "	0.11

しかし、この場合六十五歳から受給した人とのバランスを考え左図のように受給時の年齢により減額され、いったん減額されると、たとえ六十五歳になっても満額に増額されず、一生減額されます。

●生涯減額されます
国民年金の老齢(通算老齢)年金の支給開始は、六十五歳からとなっていますが、病気がちの人や今すぐ年金を必要とする人のために、年金を受取る条件を満たしていれば、本人の希望により六十五歳前からも受給することができます。

老齡年金の

繰り上げ請求は慎重に

●選択はあなたです
周りの人が早く受けているとか、「早い方が得だ」と言われたから、といった安易な気持ちで繰り上げ請求することはさけて、あなた自身の健康状態や年金受給の必要時期、目的等充分考えた上で、いつの時期に請求するかを決め手

続きされることをおすすめします。
なお、繰り上げ請求の減額は年齢によりおこないますから、例えば六十三歳と十ヶ月でも六十三歳の減額率となつてしまいますから、どうしても繰り上げ請求を希望される方は、特別な事情がなければ年齢の中途において請求することはやめて、満年齢に達したときに請求するよう心がけて下さい。

新民生委員決まる

12月1日付で、新たに民生委員21名が厚生大臣から任命されました。

民生委員の主な仕事は、低所得者対策、ねたきり老人・身体障害者援護等です。

新民生委員は下記のとおりです。お気軽にご相談下さい。

利根町民生委員(兼児童委員)名簿

区分	住所	氏名	担当地域	電話
文地区	羽根野 453	鈴木美喜男	羽根野、上曾根、押付本田	4174
	羽根野800-18	斉藤 茂	羽根野台団地	3060
	下井 354	宮本 雪江	下井、押付新田、中田切	3294
	横須賀 633	蓮沼 進	下曾根、早尾、大平、横須賀	4329
	早尾500-192	関 清一郎	早尾台団地	3617
布川地区	布川3060-4	南 正紘	内宿、布川台	3471
	布川3080	北見 孝斉	浜宿、白鷺の街	2558
	布川1795	森杉 正義	馬場(東第1、山王)	6394
	布川2589	山口 興基	中宿、上柳宿	3619
	布川3520	居原 岩夫	下柳宿、谷原	2761
	布川3004	生芝 俊正	八幡台	2442
	布川2857	豊島 みつ	馬場(上坪、下坪、新町、東第2)	2037
	布川618-28	川部チヅ子	フレッシュタウン(全域)	5195
	布川2090-30	鷲 晴夫	ニュータウン(全域)	5618
文間地区	大房 110	立石 干城	大房	7441
	立木2002	白戸 武	立木	2837
	押戸1428	大津 誠	奥山、押戸	3590
東文間地区	福木 772	石塚 芳男	羽中、福木、三番割	6180
	中谷 503	大野 泉	中谷、立崎(十字路を境南側)	2858
	加納新田1897	須藤 武男	加納新田、東奥山新田	3366
	惣新田1758	石井 澄勇	立崎、惣新田、立木新田	3930

指名願を受付

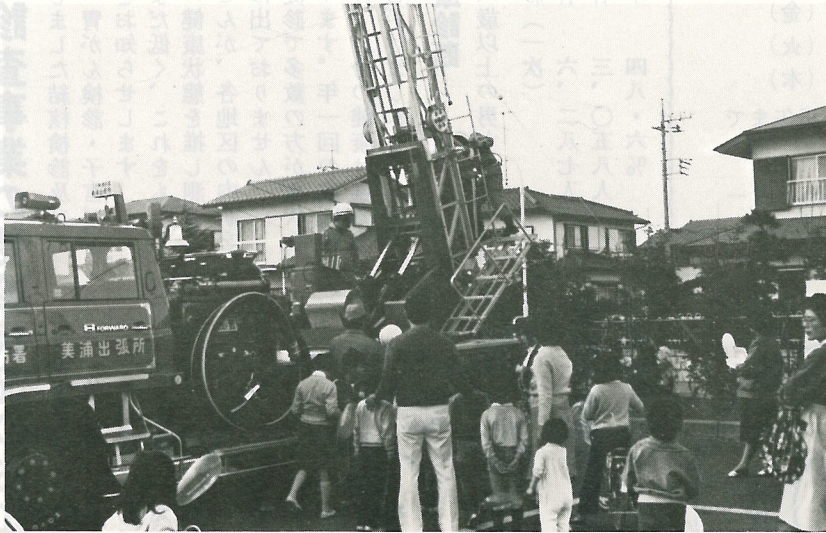
利根町では、昭和59年度町発注の建設工事、及び物品納入などを希望する業者の「指名願」を受付けます。

- 様式
建設省統一様式
 - 受付期間
1月5日～2月末日
 - 提出先
利根町役場 企画財政課
- ※詳しくは、企画財政課までお問合せください。
(☎2211 内線28、29)

点検は 防火のはじまり しめくくり

消防広場を開催

十一月二十六日から十二月二日まで、「点検は防火のはじまりしめくくり」を統一標語に、全国一斉に秋の火災予防運動が行われ、



去る十一月二十六日、利根ニュータウンで「消防広場」が開催されました。写真は、子供達に人気のあった梯子車搭乗コーナーの様子。

竜ヶ崎消防署利根出張所でも各種の行事が行われました。

十一月二十六日午後一時からは、利根ニュータウンショッピングセンター駐車場で、「消防広場」が開催され、防災備品の展示や災害写真展示コーナー、応急処置訓練、防災紙芝居、消防相談コーナー等が設けられました。中でも梯子車搭乗コーナーは子供達に人気があり、終始列をつくっていました。

また、実践しながらの天ぷら鍋火災の消火訓練や人形を使っての人工呼吸・心臓マッサージの訓練に、主婦の方々が真剣に取り組んでいました。

利根出張所では、その他の行事として十一月二十七日の午前中に、町消防団と出張所合同の町内広報パレード、午後にはフレッシュタウンの二、三戸を対象とした一般家庭防火診断を実施しました。

今後も火災予防週間等の機会に、町内各地で消防広場等を設け、防災のPRに力を入れていきたいと思えますので、皆様のなご協力をお願い致します。

奨学生募集

ロータリー財団

ロータリー財団奨学金の目的は、相異なる国の国民間の国際理解と友好関係を増進することにあります。

男女共に、ロータリークラブの存在する自国以外の国における一学年度間の研修のために、五種類の財団奨学金のどれか一つを申請することが出来ます。

※詳しくは、竜ヶ崎ロータリークラブ（竜ヶ崎市上町 常陽銀行竜ヶ崎支店 ☎〇二九七六一二二二一）まで。

茨城県立農業大学校学生募集

茨城県立農業大学校では、近代農業に必要な知識・技術、経営管理能力の修得と、広い視野と豊かな教養を身につけた農業者及び農村を担う人材の育成に重点をおいた教育を行っています。

- ▼募集人員：農業科・三〇名、畜産科・一〇名、営農科・二〇名、園芸科・三〇名、蚕業科・一〇名
- ▼受験資格：学校教育法に基づき高等学校卒業生及び昭

和五十九年三月卒業見込みの者、大学入学資格検定合格者

- ▼願書受付期間：昭和五十九年一月三十日～二月十日
- ▼試験日：昭和五十九年二月二十三日、二十四日
- 入学願書用紙の請求と詳しいことのお問い合わせは、茨城県立農業大学校（東茨城郡茨城町長岡四〇七〇一八六 ☎〇二九二九二一〇〇一〇）へどうぞ。

	大学院	大学	職業研修	心身障害者の教師	ジャーナリズム
教育程度	学士号又は同程度	大学2年修了	高校卒業生又は同程度	高校卒業生又は同程度	高校卒業生又は同程度
職歴(1984年3月1日現在)	不	不	要	最少2か年	職業ジャーナリストとして最少2か年
年齢(1984年3月1日現在)	満18歳から満29歳となる日の前日までの者	満18歳から満25歳となる日の前日までの者	満21歳から満51歳となる日の前日までの者	満25歳から満51歳となる日の前日までの者	満21歳から満36歳となる日の前日までの者
既婚、未婚の別	独身者又は既婚者	独身者	独身者又は既婚者	独身者又は既婚者	独身者又は既婚者

保健センターだより

六六六一

◎健康診査事業の受診状況のお知らせ

先般実施しました結核検診及び一般健康審査・胃がん検診・子宮がん検診の結果をお知らせします。

受診率はまだ低く、これをもって利根町全体の健康状態を推し測ることは出来ませんが、各地区の内訳を見ると差異は出ておりません。これらの健診で多数の方が異状を見つけております。年一回の集団検診は必ず受け、自分の健康は自分で守るように心がけましょう。

不要犬引き取り日

◇日 時
 1月6日(金)
 1月17日(火)
 1月26日(木)
 午前9時から正午まで

◇場 所
 利根町保健センター

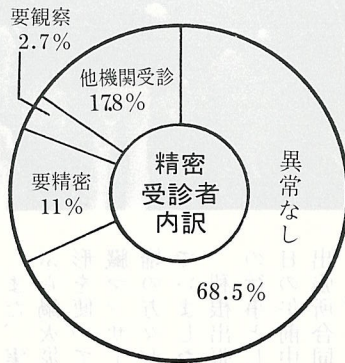
▼結核健康診断

(十八歳以上の男女)

・間接撮影(一次)
 対象者 六、二八七人
 受診者 三、〇五八人
 受診率 四八・六%

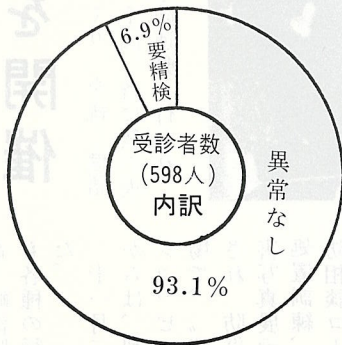
・精密検診(二次)

該当者 七八人
 受診者 七三人
 受診率 九三・六%



▼婦人の健康診査(四十歳未満)

要精検者のほとんどは貧血者です。

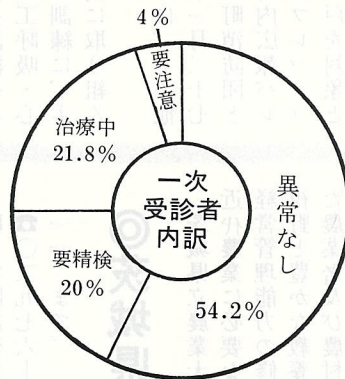


▼一般健康診査(循環器検診)

(四十歳以上の男女)

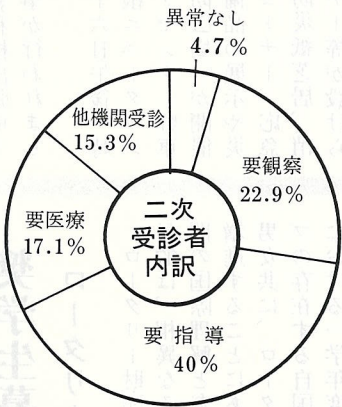
〈一次〉

対象者 四、四八五人
 受診者 一、一九七人
 受診率 二六・七%



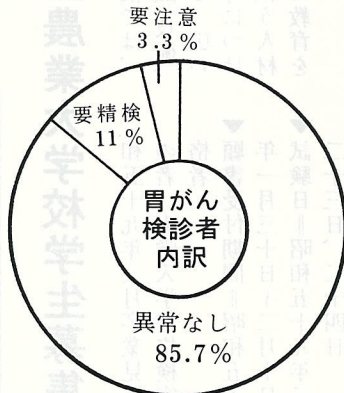
〈二次〉

対象者 二二九人
 受診者 一七〇人
 受診率 七二・七%



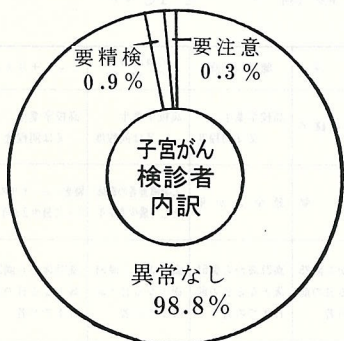
▼胃がん検診

対象者 四、四八五人
 受診者 五一〇人
 受診率 一一・四%



▼子宮がん検診

対象者 四、五七三人
 受診者 九六九人
 受診率 二一・二%



利根町の歴史散歩 (3)

徳満寺周辺 民俗学の出発点

徳満寺（海珠山多聞院、真言宗豊山派）は、元龜年間（一五七〇～七二）に祐誠上人によって中興開山されたと伝えられています。布川城主豊島頼継の祈願所で、もとは坂下（今の門前）にあったといえます。天正十八年（一五九〇）豊島氏の後に、松平信一が布川城へ入りました。慶長六年（一六〇一）信一は土浦へ移封し、布川城は以後使われなくなり、徳満寺が今のようになり、台地上に移ったのは、この後のことと考えられています。

国指定重文

徳満寺の寺宝「金銅板両界曼陀羅」は、国指定重要文化財になっています。建久五年（一一九二）につくられたもので、この秋、上野の国立博物館で開かれた「日本の金土展」にも出展されました。

間引絵馬

本堂正面のガラス戸から廊下の左上方をのぞくと、間引絵馬がみえます。柳田国男先生が少年の頃、この絵馬をみて激しく心を揺り動かされ、これが後に民俗学を志す原因になったといわれています。

一楽の句碑

地蔵堂左わきに「法の庭その日その日の落葉かな」と書

かれた一楽の句碑があります。一楽は姓を星野といひ、化政時代（一八〇四）を生きた信仰心あつた文化人でした。布川を中心とした総州六阿彌陀詣のコースを設定したりしています。内宿の星野道雄さん（消防団長）はその子孫にあたります。

四郡大師

文政元年（一八一八）には十里河岸の山本豊榮が、相馬河内、埴生、印旛の四郡を四国にみたて大師詣での札所を開きました。この開設に力を貸したのが徳満寺で、その中

心的存在です。本堂左手に大師堂（札所）があります。

落鐘の碑

明治二十六年、鐘にはしごをかけ揺り動かして遊んでいた子供が、落ちてきた鐘に押しつぶされる事件がありました。先代住職は紅蓮と名のる俳人で、仲間と呼びかけて追悼句を募り、石碑を建立しました。それらの句から……
ちる花やかねの音ひくく
法の庭 （蘭石）
咲き初る花につれなき
あらしかな （可水）



一月の主な行事と祭り

- 一月一日 はつもうで
- 一月三日 畑のいちくわ(町内全域) 「いちくわサツクリコ、にくわサツクリコ、みくわめのクワ先で金銀茶釜掘りだした。ほつ穂ほつ穂とお芽出たや。」と歌いながら畑を耕し、シメナワを飾ります。
- 一月七日 ななくさがゆ (町内全域)
- 一月十一日 田のいちくわと木刈り(最近は三日か四日に合わせて行っ家がが増えていきます)
- 一月十四日 獅子入りとあわんどり(立木地区では特ににぎやかで、獅子入りのタイコばやしがあります)この日、ならせもちを家ごとに飾ります。(町内全域)
- 一月二十日 水神社礼祭(今はどこもさびれています)
- 一月二十五日 早尾天神社例大祭(露店も並び、たいへんにぎわいます)
- 一月二十七日 大杉さまの祭り(今はどこもさびれています)



赤ちゃん紹介

雅弘(まさひろ)ちゃん

S.57. 12. 6 生

利根町大字大房460番地

高野 利夫 さん 長男
江津子

こんにちわ!

ボク、なんでもモリモリ食べるくいしん坊、まるまる太ってどっしりくん。アンヨもじょうずになりました。あちこちいたずら大好きです。ヨロシクネ!

健康教室

取手市医師会

現在もある偏食による脚気

豊富な食品に恵まれている日本で、今脚気になる人がいるとはちよつと考えられませ

昭和二十一年の終戦後には八千人、四十年には百人以下となつています。

足がむくんで疲れやすい人や、足の腱反射が消失している人達が少ないからと見られ、新しい病気の発見かと張切った大学の先生達を驚かせました。

ビタミンB₁は米糠に多量に含まれていますが、白米にしますと無くなつてしまいます。

昔は日本にも脚気が多く、大正十二年には年間二万七千人の死亡者がありました。その後ビタミンB₁の欠乏が原因と判明して、昭和十一年には年間死亡は一万人となり、

また、ビタミンB₁は人体内では合成されませんし、ビタミンAのように肝臓に貯えられることもなく、余分にとつても尿中に排泄されてしまいますので、必要量は毎日とらなければなりません。

米麦や砂糖などの糖質が、体内でエネルギーとして燃

焼するとき、ビタミンB₁は補酵素として必要ですから、スポーツや重労働の際に糖質をたくさん食べるほどビタミンB₁の必要量は増すわけです。

前記の高校生は、スポーツによる空腹を多量の糖質(ことにインスタント食品やジュース)で補い、肉や牛乳・新鮮な野菜をあまり食べなかつたことが、あとの調査ではつきりしました。

ビタミンB₁の多い食品として、ビタミンB₁を添加してある強化米がありますが、豚肉・牛乳・卵・豆類・いも類をはじめ自然食品の中には含まれていないので、かたよらない食生活の知恵が望まれます。



歳時記

ことしの冬至は十二月二十二日。厳密に言うとう午後七時三十分です。この時刻に、太陽は地球の最も南側を通ります。

冬至の日、北半球では夜が一年のうちで一番長く、そのぶん昼が短くなります。東京を例にとると、昼の時間は、一年中で最も長い夏至に比べ四時間も短く、約一時間です。

冬至

この冬至を境に、昼の時間がだんだん長くなります。

これを毎日の日差しの変化に例えて「藪(い)いぐさのこと」の節だけ長くなる「たたまの目一つずつ延びる」などと言ったりします。太陽が再び「元氣」になる「一陽来復の日」として、この日にお祝いをする風習が世界の各地にあります。クリスマスがこの時期なのも冬至に關係しているといわれます。

◎とね俳句会

露草の愛でも知らず咲いており
小半丁時雨に濡れて港口
鐘の音やいよいよ深む利根の秋
白壁に夕影落し柿熟るる
大河の土手水々と秋桜
赤い羽根パンの匂ひの売り子にも
靄雲ライン下りの水しづき
なんとなく居れば蓮の実飛びにけり
手習ひのいのち愛しく秋深む
石露の花母の足弱いつよりか
うすれ行く視力にすがりからす瓜
菊の咲くふるさとの駅旅終る
更けし夜のことに木の実の降る音は

- 竹内 恵美子
- 加藤 向陽
- 伊藤 一男
- 五代 喜道
- 高野 慶子
- 下村 慶子
- 白井 慶子
- 海老原 和子
- 五十嵐 英子
- 多田 芳子
- 井原 芳子
- 長沼 霞子
- 大津 まこと

